

ベトナム子供基金通信 No.2

ベトナム子供基金
〒113 東京都文京区本駒込2-12-13
アジア文化会館内アジアセミナー室気付け
TEL:03-3946-4121 (代) FAX:03-3946-7599

QUY HOC BONG LA XANH (ベトナム青葉奨学会)
c/o TRUONG NHAT NGU DONG DU
43D/46 HO VAN HUE, PHU NHUAN, HO CHI MINH CITY,
VIETNAM
TEL:84-8-8453782 FAX:8454228

--- ホウ工先生からのメッセージ ---

あと数時間で新年が初まります。ベトナム子供基金の皆さんのご健康ご成功を、また世界の人々に平和で幸福な年になるようにお祈りいたします。

皆さんの強いご支援で、青葉奨学会は大きく躍進してまいりました。奨学生の数は400人近くまで増え、分配地域はホーチミン市をはじめ、北はフエ、ダ・ナン、南はロン・アン、ベン・チェまでどんどん広がっていき、どこでも大いに歓迎されています。住民達にとっては喜ばしい事業で、彼らの子供達にとっても大変大きな激励で、今までになく小学校の生徒でも奨学金をもらえることができるようになったからです。奨学生達は皆張り切って、一生懸命に勉強しています。きっと良い成績を修め、親孝行で、またこれらの苗は将来すばらしい人間に成長するだろうと思っています。彼らの力で、ベトナムの国を、また平和な世界を築いてもらうことは私達の願っていることであります。新年が来る機会を利用して、皆さんのご協力に深く感謝の意を申し上げます。これからも是非よろしくお願いいたします。

1996年2月16日
グエン・ドク・ホウ工

ベトナム子供基金通信 第2号

目次

- ・ ホウ工先生からのメッセージ--- 1p
- ・ ベトナム便り----- 2p
- ・ 子供基金からのお知らせ----- 3p
- ・ 会計報告----- 4p
- ・ 子供基金Q&A----- 5p

去る2月18日(日)新年会を行いました。上記はホウ工先生からこの日のために寄せられたメッセージです。当日は雪という悪天候にも関わらず、60名もの方々がお集まり下さり、盛会に終わりました。メインは運営委員の土井さん(ジャーナリスト)がベトナムで撮影したビデオの上映でした。奨学金を受けている子供の生活ぶり、ホウ工先生の活動、ドンズー日本語学校の様子などを紹介し、「ベトナム子供基金の活動が初めて理解できた」といった感想を参加の方々からいただきました。

ベトナム便り (1)

ベトナム子供基金ホーチミン事務局
篠崎 翠

私の下宿先に中学2年の男の子がいます。毎朝私が起きてコーヒーを飲み、階下へ降りていく頃には、もう学校へ行った後で彼の姿はありません。午前の部は7時からなのだそうです。でも10時頃にはもう帰宅しています。3時間か4時間勉強してくるわけですが、午後はまた出かけるのですが、今度は午前中の学校ではなくて、日本だったら塾のようなところだそうです。そこへ行って勉強しないと、「優良」がもらえないんだそうです（もちろんそこで勉強しても全員が「優良」をもらえるわけではないのですが）。こちらでは2部制がとられています。こちらに青葉奨学会を手伝ってくださる現役の小・中学校の先生方がいます。ときどき、こちらの学制についてたずねることがあります。ある日、このことについて話が及んだとき、誰かが「青葉は『優良』をもらわないと奨学金がもらえない」と言ったので、私が「でも、青葉の奨学生達は塾のようなところへ行かれないんでしょう？」と聞きましたら、「行っている子もいる」ということです。行かないと「優良」がもらえないし、「優良」でないと奨学金を切られてしまうからでしょう。

それにしても、青葉で奨学金をもらっている生徒達は偉いと思います。こちらでは青少年が机に向かってる姿をほとんど見かけません。ある日、ベルギーから来ていたボランティアの青年と話をすることがありました。彼は主に路上生活児童 (Street Children) の世話をしているのですが、仲間のボランティアのベトナム人青年達の姿を見て、「勉強する環境がないのが残念だ」と言っていました。確かに生活環境は勉強に適当とは言えません。テレビやビデオとそれらを置く台はあっても、学習机がありません。床に寝そべって字の練習をしている小学校1年生は普通でしょう。また少しでも生活に余裕があると、親は競って家庭教師をつけます。子供はこの習慣に慣れすぎ

て、家庭教師が来なければ自分で勉強したがりません。青葉の生徒達は、塾には行くかもしれないけれども、家庭教師はいないでしょう。このような環境の中で彼らは確実に勉強し、勉強の意欲を燃やして、実際に「優良」あるいは「優秀」の成績をとっているのですから。

また、日本の場合と比べれば、幸せと言えば幸せですが、子供は良く遊びます。不潔な道路を裸足で真っ黒になって遊んでいます。少し前までのベトナムだったら、本当に幸せな子供達という目で私も見ていられたのですが、現在のようにものすごい勢いで流れ込んでくる外国の風潮、外国の経済、そしてそれに伴う学歴偏重主義を目の前にすると、この一見幸せに見える子供達の将来は、果してこのまま幸せに続くのだろうかと考えてしまいます。

今年の初めに教育省の役人が「いまの子供達の将来 (20年後) を考える」と、教育制度の見直しを打ち出していました。また、機会あるごとに、新聞やテレビで、貧困家庭の優良児を表彰する会のニュースが報道されます。奨学金を手渡すシーンなどが映し出されます。私には少々抵抗がありますが、ともあれ、勉学を奨励していることは理解できます。

そんなわけで、少しでも勉強したいという意欲のある生徒達を励まし、助けてあげられるのはとても貴重な援助の方法だと思って、微力ですがお手伝いさせていただいています。ただ、農村部の児童に対する援助の方法が確立されていないのが残念です。それぞれの地域に「青葉の核」が存在していれば問題ないのですが、まだそこまで育っていません。また、遠くまで行かなくても、近郊の農村部でも、学校の建物の設備は大変貧しいのが現状のようです。例えばトイレがないなどの基本的な衛生環境が整っていません。これでは病気、特に伝染病の発生と伝染を防ぐのは難しいでしょう。

最近もニュースでこのようなことが報じら

れていました。「ベトナムで結核が猛威を振るって、大都市部、ハノイ、ホーチミン市でも結核患者の数は随分大きなパーセンテージ（確実な数字は失念しました）を占めている。最低8ヶ月は入院して薬による治療が必要な人でも最初の2ヶ月ぐらいで退院してしまっ、薬も飲まなくなっ、こういう人は平気で他人に菌をふりまいてる。」と。ある医師のコメントとして、これらは国民の無知によるとしめくくっていました。貧しいために、長期の入院治療に耐えられないのも大きな理由であることに間違いありませんが、大都市でさえこのような状況なら農村、山間部の人達の状態はどうなのだろうと案じないわけにはいきません。また、ベトナムにいらしたことのない方には想像しにくいかも知れませんが、こちらの子供達は大変華奢です。いまでこそ目が慣れましたが、最初の頃は年齢を当てるのに苦労しました。13歳と聞いても、日本人の8、9歳の体格しか持ち合わせていない子供も多いです。ベトナム人が小柄なのか---そうではないと思います。日本人も小柄だと言われていました

が、いまではそうではないでしょう。また、幼少時から日本で育ったベトナム人の子供は、10代に入れば日本人と同じように大きな体格に変わっています。栄養の問題、そして教育、予防衛生学の必要性を強く感じます。

青葉の奨学金で勉強している生徒達が、将来祖国の単なる経済発展だけではなく、真の発展、発達のために働いてくれる人間に育てほしいと、皆様との仲立ちをしながら考え希望している日々です。

☆篠崎 翠（しのざき みどり）さんはド
ンズー日本語学校で日本語教師をされていま
す



子供基金からのお知らせです

●青葉奨学会の電話番号が変わりました。

(旧) TEL 453782 → (新) TEL 8453781
FAX 454228 → (新) FAX 8454228

●転居等で連絡先が変わった場合は、ベトナム子供基金事務局宛連絡をお願いいたします。

●ベトナムの子供さんに手紙をお出しになるときは青葉奨学会宛に直接お送り下さい。

青葉奨学会への宛名の書き方の例



To: QUY HOC BONG LA XANH
c/o TRUONG NHAT NGU DONG DU,
43 D/46 HO VAN HUE, PHU NHUAN,
HO CHI MINH CITY,
VIETNAM

ベトナム子供基金会計報告

- 1995年6月～1996年3月 -

収支決算書 (1995年6月～1996年3月) (単位：円)

収入	金額	支出	金額
基金収入	6,705,000	基金送金	4,750,000
利息	195	経費	354,747
新年会残金	18,705		
収入計	6,723,900	支出計	5,104,747
残高		残高	1,619,153
合計	6,723,900	合計	6,723,900

基金収入の内訳 (1995年6月～1996年3月)

	一般 基金		里親 基金		その他 の基金		合 計	
	参加者数	金額(円)	参加者数	金額(円)	参加者数	金額(円)	参加者数	金額(円)
1995年6月	14	176,000	7	220,000	4	29,000	25	425,000
7月	7	125,000	16	520,000	0	0	23	645,000
8月	4	86,000	11	240,000	2	210,000	17	536,000
9月	1	12,000	1	20,000	0	0	2	32,000
10月	1	12,000	2	120,000	0	0	3	132,000
11月	27	492,000	85	1,860,000	4	33,000	116	2,385,000
12月	13	168,000	53	1,160,000	4	40,000	70	1,368,000
1996年1月	3	60,000	17	360,000	1	10,000	21	430,000
2月	4	48,000	16	360,000	3	40,000	23	448,000
3月	4	96,000	10	202,000	1	6,000	15	304,000
合計	78人/団体	1,275,000	218人/団体	5,062,000	19人/団体	368,000	315人/団体	6,705,000

合計参加者数は一部重複しています

経費の内訳 (1995年6月～1996年3月)

(単位：円)

	郵送費	印刷費	国際通信費	文房具代	ホーチン事務局 員活動費	雑費	合計
1995年6月	19,280	6,999	1,118	15,795	0	0	43,192
7月	5,390	3,060	1,028	0	0	0	9,478
8月	1,950	1,700	4,444	1,449	0	7,373	16,916
9月	510	610	1,257	0	0	0	2,377
10月	8,380	3,320	1,468	0	0	0	13,168
11月	27,006	9,859	3,352	0	0	0	40,217
12月	22,130	7,096	1,063	6,179	0	4,500	40,968
1996年1月	10,000	1,804	5,397	0	0	0	17,201
2月	18,750	8,511	2,437	0	0	0	29,698
3月	2,970	3,843	3,379	0	131,340	0	141,532
合計	116,366	46,802	24,943	23,423	131,340	11,873	354,747

ベトナム子供基金 Q&A

これまで、ご協力下さっている方々から、電話や葉書で多くの疑問や質問、また時にはお叱りの言葉などを頂戴いたしました。みなさまからご質問が多かったものを取りまとめ、ご報告したいと思います。

●活動の現状を教えてください？

昨年6月に発足し、4月11日現在現在里親会員119名（グループ、団体を含む。以下省略して名のみ記す。）、一般会員78名、その他の会員17名です。里親としてのご協力者のうち、子供さんとのマッチング（組み合わせ）が終了している方が105名（子供さんは131名）で、115名の方にマッチングをお待ちいただいている状況です。青葉奨学会のスタッフの皆様も頑張っておられますので、申し訳ありませんが、今しばらくお待ち願います。手続きが終わり次第、ご連絡をさしあげます。

運営はベトナム子供基金運営委員とボランティアの約10名程で行っています。現在は月1回土曜日曜日にミーティングを行い必要事項を検討し、実務作業は、その都度必要に応じて行っています。

●里親の申込みをしてから、ずいぶん連絡がありませんが、運営体制はどのようになっているのでしょうか？

いままで、お申込みいただきながら、領収証をお送りしただけで、ずっとご連絡を差し上げずにいる方々にはいろいろご心配をおかけし、申し訳ございませんでした。ベトナム子供基金では、青葉奨学会で選考し、奨学金を支給しておりますので、お申込みいただいてすぐにマッチングできないことがあります。奨学金対象者の選定も、学校からの推薦状だけで判断せず、必ず本人や家族に会い、家庭状況を把握し、奨学金を支給すべき学生かどうか判断します。ベトナムでは日本のように電話が普及していないので、一人の奨学生を決めるのに、1ヶ月ほどの時間がかかってしまうこともあります。

また、いままで青葉奨学会とベトナム子供基金との連絡は、ほとんどFAXと電話で行ってまいりましたが、停電でFAXが届かなかったり、また、届いても回線状況が悪く、判読が難しかったりし、思うように素早くやりと

りを行うことができないことがありました。そのような状態の中、ご多忙のホウエ先生とコンタクトをとることはなかなか容易でないこともありました。

そこで、現地で活動し、双方のコミュニケーションを円滑にするために、ベトナム子供基金の事務局員としてベトナム側に専従のボランティア職員を置きました。この方は篠崎翠（しのぎき みどり）さんというドンズー日本語学校で日本語教師をされている方で、ホウエ先生が信頼をおいている方です。ベトナム子供基金側のボランティアのメンバーの訪越も時々ありますので、そうした機会を双方利用しながら、篠崎さんを中心に連絡体制を整えてまいりたいと思います。

なお、篠崎さんには活動費として月100米ドルを、一般基金の枠から出すことになりました。ベトナム子供基金では基本的に事務・運営費にあまりお金をかけず、できるだけベトナム側へ多くの支援金が渡るようにしたいと思っておりますが、必要な体制整備はできるだけしていきたく思っております。

●数年続けて決まった子供の里親をすることが出来ますか？また、里親が続けられなくなった場合はそのお子さんはどうなるのでしょうか？

1年間の里親が終了する少し前に、その子供さんが優秀な成績を修め、翌年も奨学金を受ける資格があると青葉奨学会が認定した場合、里親の方に里親継続のお願いをお送りいたします。ご継続いただける場合は、入金のお手続きをお願いいたします。奨学金を必要とする子供達の家庭状況は厳しく、本来、子供さん方が支給継続を心配しながら勉強するよりも、数年続けて里親をしていただけることが好ましいと思います。但し、青葉奨学会では、真面目に努力し、成果を出した子供に、今後もやる気を持って望んでもうらう意味もこめ、この奨学金を支給していますので、子供自身の努力が不可欠であることはホ

ウエ先生も言っておられます。ベトナム子供基金では、一般基金もついております。これは、里親の送金が切れたり、里親の数が足りないために、途中で学業を断念しなければならぬ子供が出てきた場合の奨学金に充てたり、学校施設等の教育環境の整備などに使う目的で集めているものです。

●子供とのやりとりはどのようにすればよろしいのですか？

個人的にプレゼントなどをしてかまいませんか？

子供さんとのマッチングが終了したら、その子供さんの履歴票、その日本語訳を、里親の方に送付いたします。また、子供さんに里親宛に手紙を書いてもらっています。子供さんからの手紙はすべて青葉奨学会で日本語に翻訳し、ベトナム子供基金事務局に送られ、事務局から皆様にお送りいたします。返事を出される方は、青葉奨学会宛直接お送り下さい（宛名の書き方は3頁参照）。ベトナム語または英語ができる方は、翻訳の手間を省くために、ベトナム語、英語で書いて下さいますようお願いいたします。現地では、ドンズー日本語学校の先生と生徒さんが翻訳のお手伝いをしています。

なお、お子さんへの直接のプレゼントはご遠慮下さい。これは、子供達の中での不公平をとり除くということと、貨幣価値の違いから、彼らの考え方に悪い影響を与えてしまう恐れがあるとのホウエ先生のお考えによるものです。ベトナムの子供達のおかれている環境をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

今後、実際に子供さんとの面会を希望される方もいらっしゃると思います。多くの

方にベトナムを訪問していただけるよう、青葉奨学会とベトナム子供基金で現在スタディーツアーを検討中です。単なる観光に留まらず、ベトナムの子供達との望ましい交流方法を模索しながら、検討を進めています。

その前にどうしても面会をご希望される方は事務局までお申し出下さい。

●ベトナムの学校制度について教えてください。

小学校が5年、中学が4年、高校が3年です。小学校から高校までで12年間勉強するのは、日本の学制と同じです。呼び方は小学校1年生から5年生までは「1年生～5年生」、中学校1年生から4年生までは「6年生～9年生」、高校1年生から3年生までは「10年生～12年生」と呼びます。

●今後のプランを教えてください。

ベトナム子供基金としては、まだまだ多くの課題を抱えています。例えば、組織立った体制づくりや、ボランティアの確保、安定した奨学金の提供です。

その中で、現在もっとも課題となっているのは、郡部や農村部などへの支援の拡大です。現在、ホーチミン市から外は、青葉奨学会がすべて出張ベースで対応してまいりました。しかし、地方と都市部の格差が開いているいま、地方の子供達に対する支援が必要だと考えています。今後は、ホウエ先生、青葉奨学会と相談しながら、地方で責任をもって任務を果たせるような体制づくり、また資金の効果的な運用方法も併せて検討していきたいと考えています。

◆ あとがき ◆

- ・ 予定より大幅に遅れてしまいましたが、子供基金通信2号をお送りします。今後は年3～4回の発行が出来るように努力していきたいと考えています。
- ・ 次号では運営委員の土井さんの現地レポートを紹介する予定です。
- ・ ベトナムに関するニュースを耳にする機会が本当に多くなりました。NHK衛星第一放送のASIAニュースでは4月よりベトナムTVのニュースを流しています。
- ・ 子供基金に対するご意見ご質問等は郵便のほか電子メールでも受け付けます。
(NIFTY Serve ID:BXA01057, Internet経由:BXA01057@niftyserve.or.jp 担当 堀内 淳)